

国民の声を無視した国葬強行に抗議しよう！
ロシアの蛮行を利用した軍拡・改憲策動を止めよ！

10月「19の日」行動



岸田政権は国民の大きな反対の声を無視して、安倍元首相の国葬を強行しました。元々、法的根拠も明確でない国葬を閣議決定しただけでなく、安倍元首相自身の安倍政治への評価が別れる中で、統一協会との深いつながりが明らかとなったことも重なり、国葬に反対する国民の声が大きく広がりました。物価が高騰し年金が減額され、苦しむ国民にとっては数十億といわれる費用を国葬に使うことに疑問を持つのも当然でしょう。国葬の強行は、憲法や法律・国民の声を無視して突き進む政治手法であり、決して許すことはできません！

岸田内閣は憲法改悪を進める構えを国会で語っています。またロシアのウクライナ軍事侵略や北朝鮮の暴挙を利用して、中距離ミサイルなど、他国を攻撃出来る大軍拡を進めようとしています。今こそ改憲を許さない国民世論を広げ、高めることが求められます。

「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みと対話をさらに進め、多くの仲間や市民とともに声を上げましょう。

とき **10月19日 (水)**

午後6時30分～ 街頭演説

午後7時00分～ デモ

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 戦争をさせない1000人委員会京都連絡会